



事務連絡
令和2年8月6日

三重県経営者協会 会長 殿

三重労働局労働基準部
健康安全課長

8月以降における熱中症予防対策の徹底について

平素は、労働基準行政の推進にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、職場での熱中症予防対策については、令和2年4月7日付け『令和2年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について』により協力をお願いをさせていただき、各団体におかれましては熱中症予防に取組みいただいているところではあるかと存じますが、別紙のとおり7月末までに報告があった全国の職場における熱中症による休業4日以上の死傷者数（以下「死傷者数」という。）は、猛暑であった昨年同時期と比較して、6月は、速報値ではあるものの、2倍以上となっています。

また、三重県内の令和元年から過去5年間の死傷者数（別添リーフレット参照）を見ると、8月前半に急増する傾向にあり、今年は、特に新型コロナウイルス感染症に備えて「新しい生活様式」を導入したことに伴い、在宅勤務や業務量の偏りが生じているところも多くなっており、梅雨明け後等の気温の急激な上昇に対し、労働者が熱順化（熱に慣れ当該環境に適応すること）していないと、熱中症の発症や重篤化が懸念されます。

さらに、お盆明けなど夏季休暇後にも、暑さに慣れていない身体で業務再開を行う際には細心の注意が必要です。

つきましては、貴職におかれましては、8月以降の職場における熱中症予防対策の徹底に向け、労働者の熱順化の状況を踏まえた対策の実施に留意する等により、熱中症予防対策に一層の取組を進めていただけるよう、関係事業場への周知について特段の御理解と御協力をお願い申し上げます。

別添リーフレットは、三重労働局のホームページからダウンロードできます。

URL：https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/jirei_toukei/pamphlet_leaflet/anzen_eisei/20200721.html



熱中症による月別の労働者死傷病報告数（平成31年・令和元年、令和2年）（人）

	5月 以前	6月	7月	7月末まで の累積数
令和2年 ※同年7月末時点の 速報値	14 (1)	57 (0)	22 (2)	93 (3)

平成31年・令和元 年 ※同年7月末時点の 速報値	28 (0)	24 (0)	20 (7)	72 (7)
平成31年・令和元 年 ※確定値	30 (0)	45 (1)	177 (5)	252 (6)

8月	9月	10月 以降
472 (15)	97 (3)	8 (1)

- 令和2年においても同様に報告数が確定すると仮定すると、7月末までの累積確定数は300人以上に上ると推定される。
- 平成31年・令和元年8月（確定値）において、450人を超える被災者が発生したことから、本年8月以降も職場における熱中症予防対策の更なる徹底が必要である。
 - ※ 括弧内は、死亡者数（内数）。
 - ※ 「5月以前」は1月から5月まで、「10月以降」は10月から12月までの合計。
 - ※ 休業4日以上労働災害に係る労働者死傷病報告及び都道府県労働局による把握人数。

（参考）平成31年・令和元年の職場における熱中症による死傷災害発生の概要

職場での熱中症による死傷者（死亡・休業4日以上）は、前年より減少したものの829人と依然として多く、うち死亡者は25人となっています。死亡災害の発生は8月に集中し、死亡者を業種別に見ると、建設業10人、製造業と警備業がそれぞれ4人などとなっています。死亡災害には、防護服や着ぐるみなど、通気性の悪い衣服を着用していた事例も含まれています。

死傷者については、過去10年で初めて製造業での発生が建設業より多くなりました。炎天下での作業だけでなく、通風の悪い屋内作業においても注意が必要です。また、熱中症が原因で、高所から墜落する、車両の運転中に交通事故が起きるなど、第三者を巻き込みかねない事例もあります。

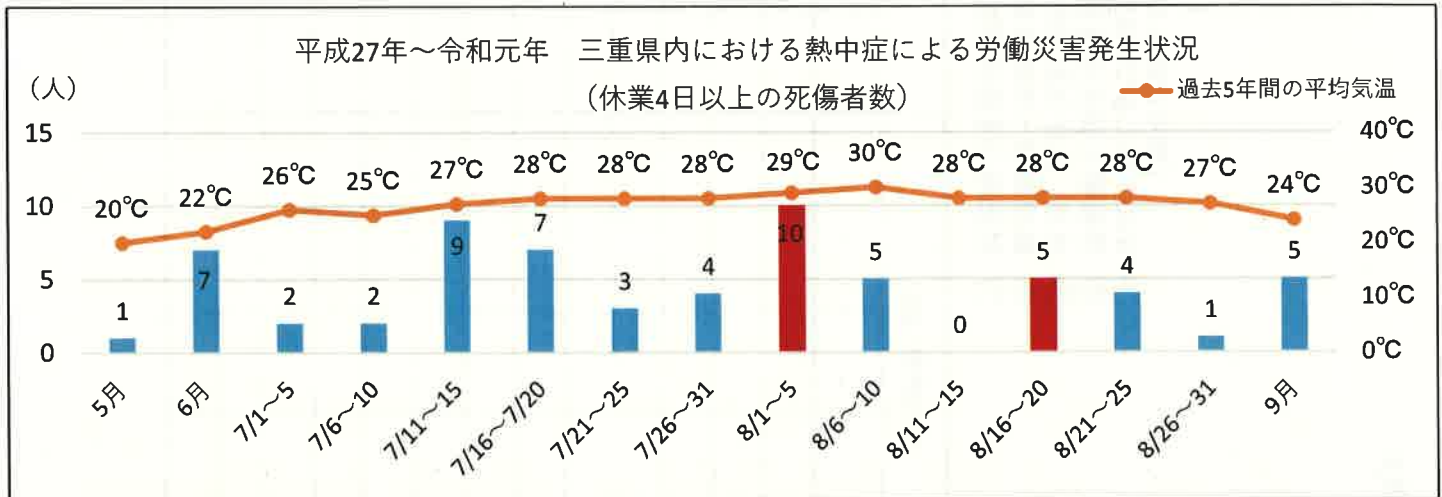
熱中症の発生警戒時期です！

～重点的に熱中症対策を進めましょう～

三重労働局健康安全課

例年、気温の変動時に熱中症の発生が多く、特に8月初旬が熱中症発生のピークとなっています。

また、今年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策との両立も必要です。



重点取組事項

- JIS規格に適合した測定器を用いて、「WBGT値（暑さ指数）」を測定しましょう。
- 「WBGT値」にもとづき、日よけの設置等による暑さ指数の低減、作業時間の短縮等を進めましょう。
- 毎日、定期（作業開始前・午前休憩・昼休憩・午後休憩・作業終了時）に、「水分」及び「塩分」の摂取状況、「健康状態」をチェック（裏面「管理表」）しましょう。
- 事前に緊急時の連絡体制を整備しましょう。
～異常を認めたら、「直ちに報告」・「一人にしない」・「医療機関を受診」～

熱中症予防の具体的な対策・教育資料などは、下記のサイトから入手できます



環境省 熱中症予防情報サイト

検索



厚労省 STOP 熱中症

検索

新型コロナウイルス感染症の予防と熱中症予防の両立を図りましょう！

- ◆屋外で十分に距離(2メートル以上)が離れて、感染防止対策が取られている時は、マスクを外すことは可能です。
※粉じん作業や有害業務に係るマスクは外さないでください。
- ◆マスクで顔色の変化が見えにくくなっています。
適時、健康チェックを！

詳しくは、

コロナ 熱中症 厚労省

検索

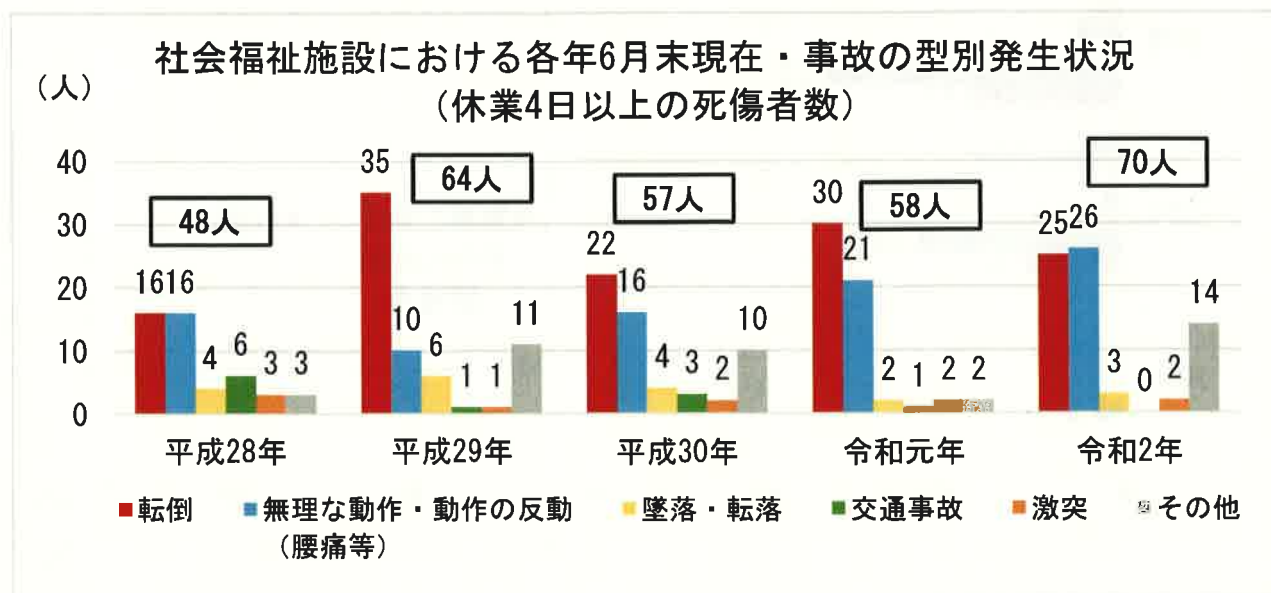
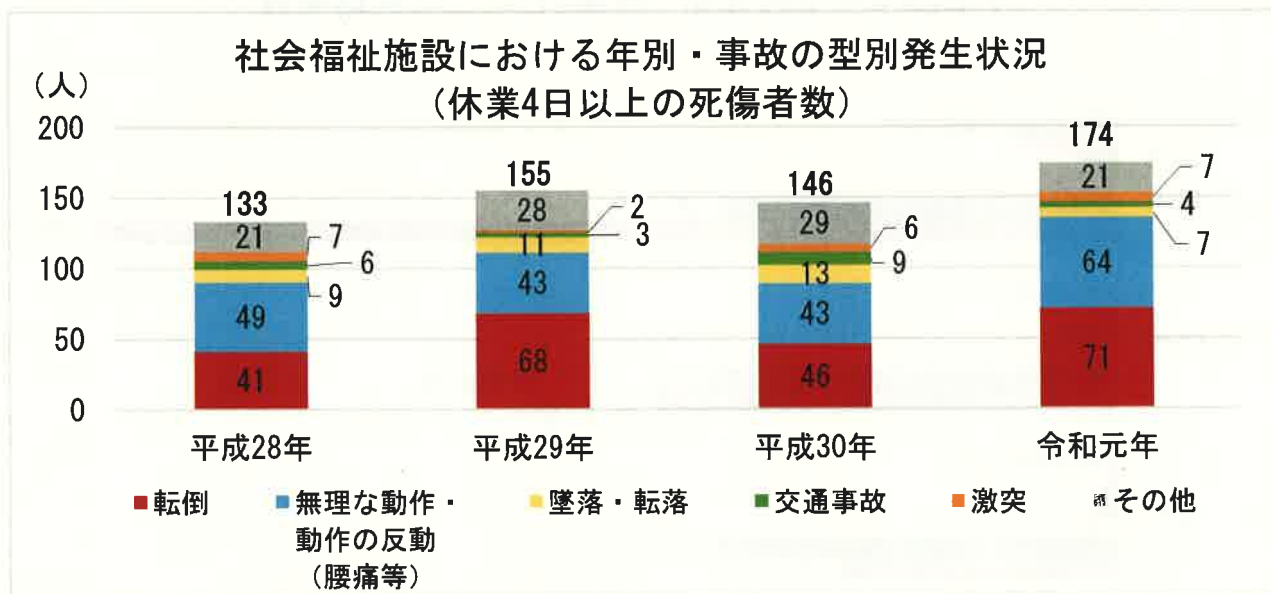
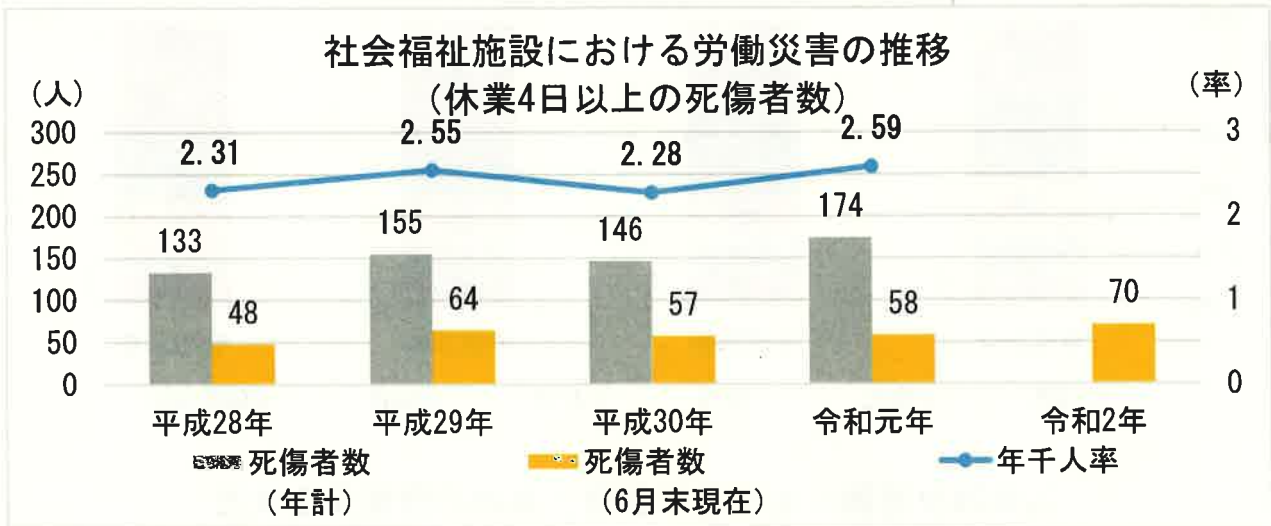
熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

ウイルス感染対策は忘れず！

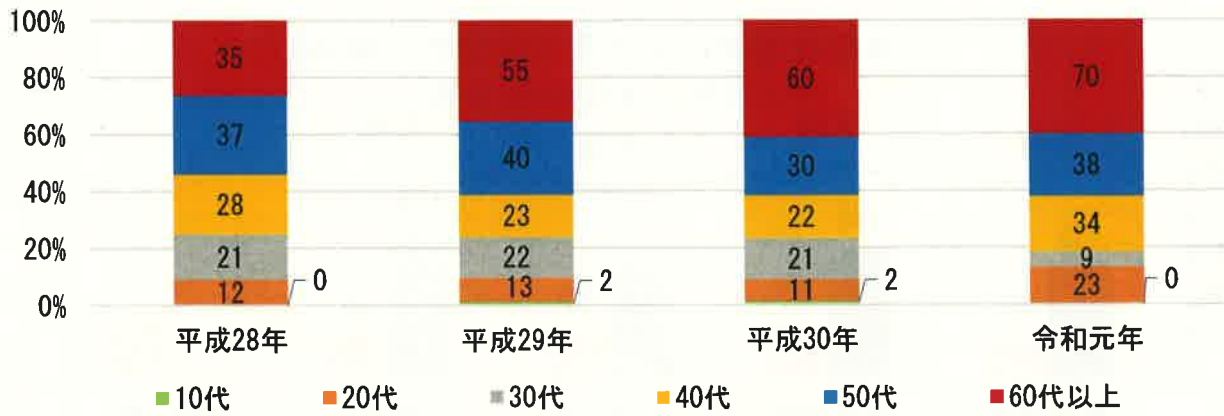


三重県内の社会福祉施設における労働災害発生状況

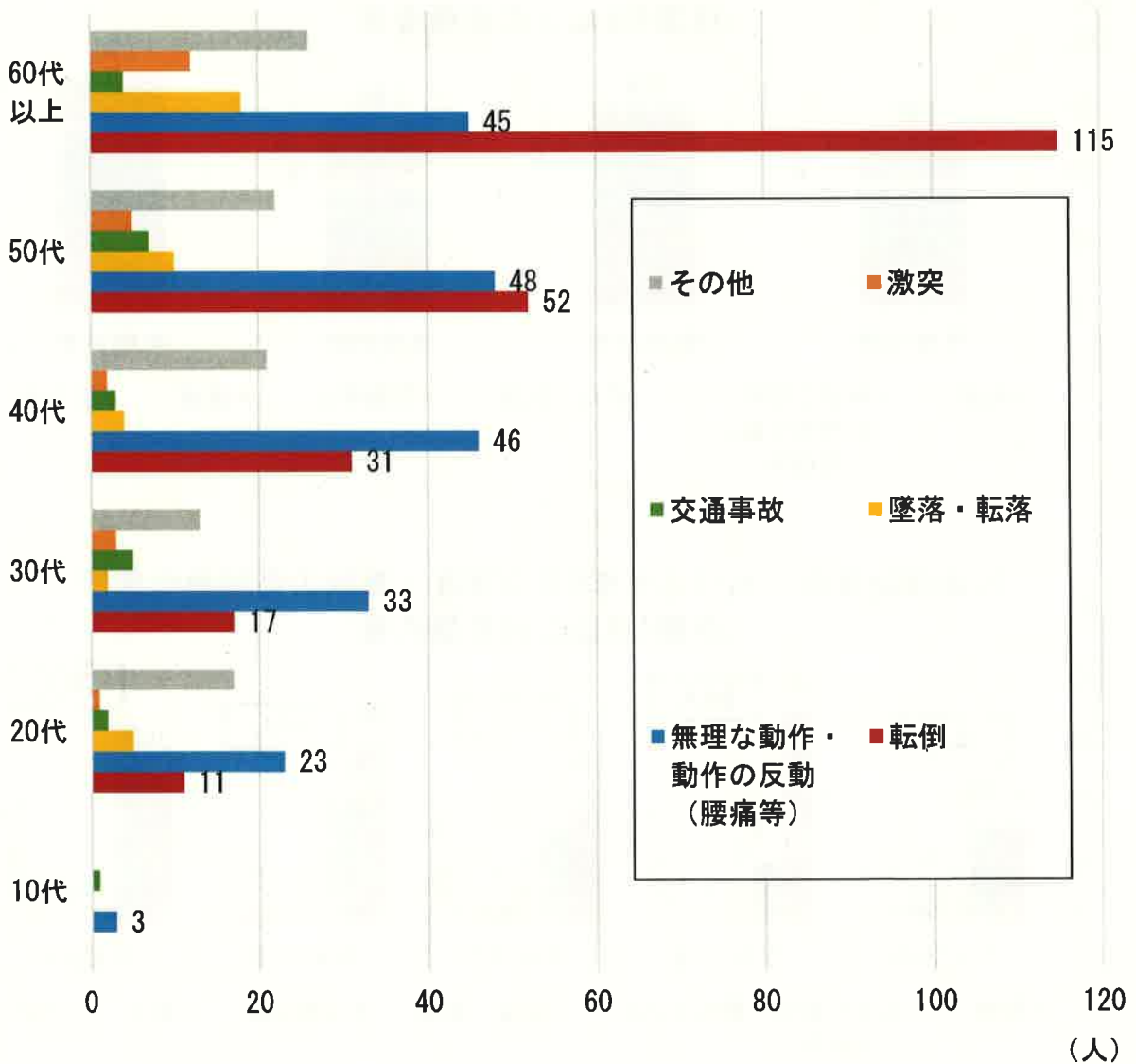
令和2年8月
三重労働局



社会福祉施設における年別・年齢別発生状況
(休業4日以上 の死傷者数)



社会福祉施設における年齢別・事故の型別発生状況
(平成29年～令和元年 休業4日以上 の死傷者数)



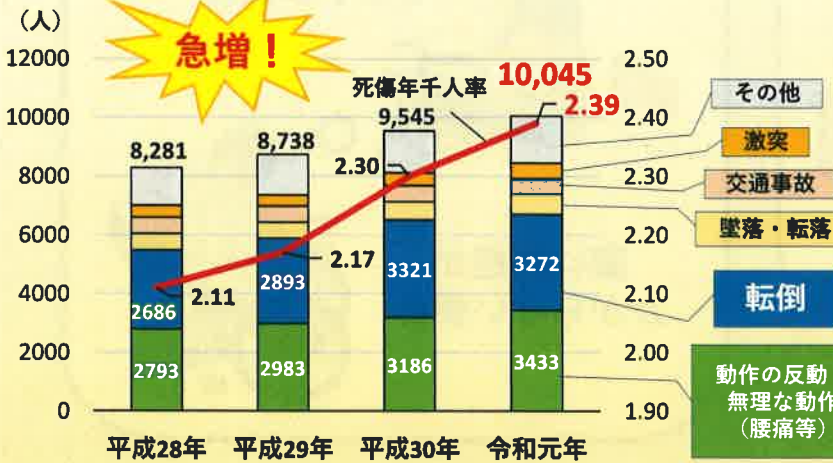
労働災害が増えています！

みなさんの職場は安全でしょうか？

労働災害の現状

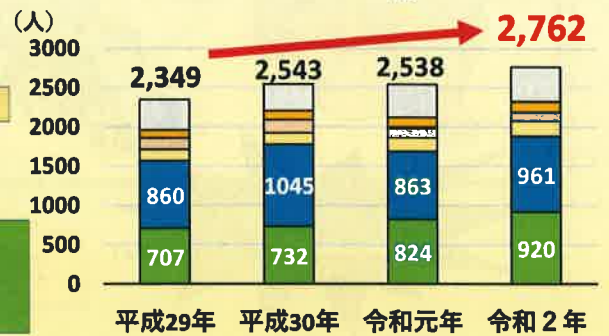
近年、労働災害全体の件数は減少傾向にあります
社会福祉施設においては未だ増加傾向にあります

過去4年間の死傷災害者数（休業4日以上）
及び死傷年千人率の推移



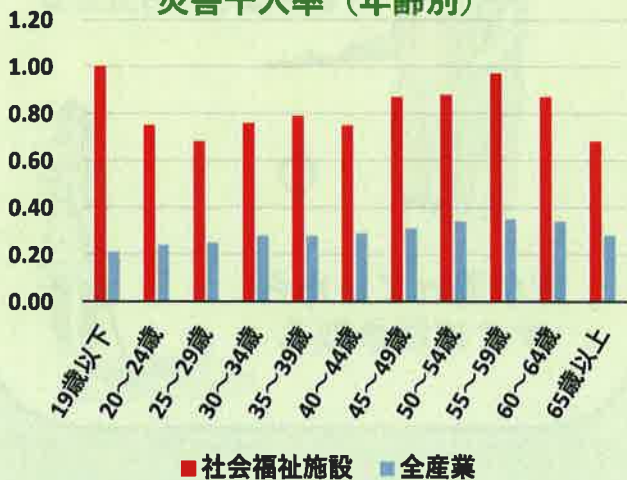
- ・令和元年の死傷者数は、**前年比5.2%増加**
- ・令和2年5月の死傷者数は、**前年同期比8.8%増加**

<過去4年間の5月時点での死傷災害者数の推移>



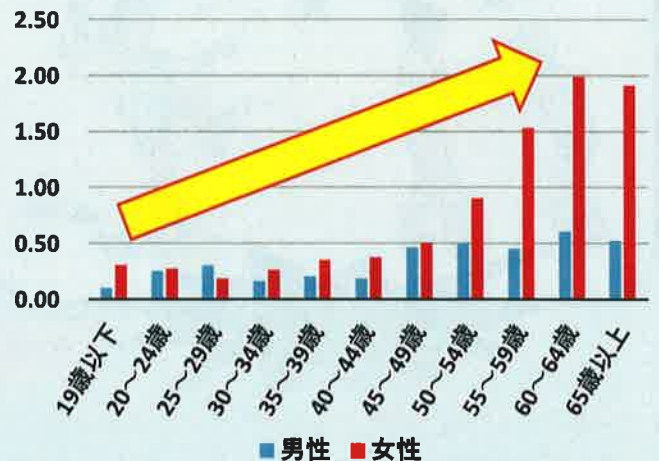
災害の原因は「**転倒**」「**動作の反動・無理な動作（腰痛等）**」が**半数以上**！
その他は「**墜落・転落**」、「**交通事故（道路）**」、「**激突**」等も

動作の反動・無理な動作（腰痛等）
災害千人率（年齢別）



- 他産業と比較して**全世代**で高い
- 19歳以下では他の産業の**約5倍**！

社会福祉施設における
転倒災害千人率（性別・年齢別）



- 高年齢**ほど発生率が高い
- とくに**女性**で顕著

社会福祉施設で昨年**10,000人以上**が労働災害に
今一度、安全衛生対策を見直しましょう！（裏面へ）



職場に取り入れましょう！ ～労働災害対策事例～

労働災害の危険性は、日々の作業に潜んでいます
新規入職者はもちろん、経験年数が多い方も日頃の作業方法を見直しましょう

腰痛予防

無理な体勢をしていませんか？



気づかない間に
腰に負担が...

改善！

○ スライディングボードや
リフトの使用



腰に負担が
かからない姿勢

転倒予防

転倒の危険性はありませんか？



思わぬところに
リスクが潜んでいます

改善！

○ 歩き方を工夫する
・前を向く
・斜め後ろから支える



床が濡れていたら
すぐに拭き取る

ぜひご活用ください



「職場の危険の見える化（小売業、飲食業、社会福祉施設）実践マニュアル」
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/mieruka.pdf>)



「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」
(エイジフレンドリーガイドライン)
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/000623027.pdf>)